



なないろのかけはし

本市は「幼保小の架け橋プログラム」に取り組んでいます

■ 幼保小の架け橋プログラムとは

子供に関わる大人が立場の違いを越えて自分事として連携・協同し、この時期にふさわしい主体的・対話的で深い学びの実現を図り、一人一人の多様性に配慮した上で、全ての子供に学びや生活の基盤を育めるようにすることを目指すものです。

本市は令和4年度から3年間、文部科学省の「幼保小の架け橋プログラム」事業に取り組んでいます。架け橋期（義務教育開始前後の5歳児から小学1年生までの2年間をさします）の教育の充実のためにこれまで、市内全ての幼稚園・保育園・小学校が参加し、架け橋期のカリキュラムの作成や保育及び小学校での体験研修、理解研修会を実施して、幼児教育と小学校教育の相互理解を図りながら、幼保小間の関係づくりにも努めてきました。

今年度は、作成したカリキュラムの実践・検証を行い、カリキュラムの更新・充実に取り組み、白石の子供たちの健やかなる成長を目指します。



幼児教育と小学校教育の特徴

	幼児教育	小学校教育
教育活動	<p>「学びの芽生えの時期」</p> <p>○楽しいことや好きなことに集中し、様々なことを学びます。</p>	<p>「自覚的な学びの時期」</p> <p>○学ぶということへの意識をもち与えられた課題を受け止め、計画的に学習を進めます。</p>
指導の方法	<ul style="list-style-type: none"> 環境を通して行う教育 幼児の生活や体験からの学び、自発的な活動を重視します。 <p>※ 遊びを通しての総合的な指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> 合科的・関連的な指導、個に応じた指導、問題解決的な指導を行います。 学級集団を基本とする45分ごとのねらいに即した効果的指導を行います。
教育課程等の構成	<ul style="list-style-type: none"> 各教科等の区別がありません 幼児期以降の教育の方向付けを重視します。 (～を味わう、～を感じる) 	<ul style="list-style-type: none"> 各教科等の区別があります 具体的な目標への到達を重視します。 (～ができるようになる)
円滑な接続を図る	<p>👉ポイント</p> <p>幼児期の遊びの中の学びを児童期の教科等の学びにつなげること</p> <p>👉アプローチカリキュラム（幼保）</p>	<p>スタートカリキュラム（小学校）</p>

本市のスタートカリキュラムについて（週案タイプの紹介）週案タイプは5月上旬まで活用
 ☞ 特に4月は、幼児期に親しんだ活動を取り入れたり、分かりやすく生活や学びに向かうことができる環境づくりをしたりすることで、1年生が安心して学校生活をスタートできるように計画していくことを大切にしています。
 ☞ 生活科を中心に他教科等を組み合わせた学習活動や、柔軟に対応できる時間割を工夫しています。

週案タイプ モデルプラン

第1週 令和6年4月8日（月）～4月12日（金）

【今週のねらい】

『はじめまして 学校』
 1年生になったことを喜び、楽しく過ごすことができるようにする。

	8日（月）	9日（火）	10日（水）	11日（木）	12日（金）
行事等		入学式	幼保で歌った歌や手遊びで一日をスタート		
1			音楽 手遊びをしよう うたっておどってなかよくなるう	音楽 手遊びをしよう うたっておどってなかよくなるう	音楽 手遊びをしよう うたっておどってなかよくなるう
			学活 元気な返事やあいさつ 学習道具の出し入れ プリントのもらい方	国語 きこえるよ 体を動かして言葉のリズムを楽しもう	国語 なんていうのかな 人と関わる時に大切な言葉を知る
2	時数のカウントの目安として時間を区切っているが、授業時間の区切りで活動を区切らずに、子供たちの思いを拾い上げながらなめらかに活動をつないでいくようにする。 例えば・・・ （10日）先生と一緒に学校の中を歩きながら、その場所の使い方を覚えていく。 （11日）言葉のリズムを楽しんだ後で友達の名前を知りたいな、名前を教え合おう、名前を書いてみよう、好きなものの絵も描いて教えたいな、と子供の思いをつないでいく。		学活 1年生になったよ トイレ・靴箱・ロッカーの使い方	国語 たのしくかこう 姿勢や手の置き方 鉛筆の持ち方	道徳 わたしのすきなこと 隣の友達と自分の好きなことを話す。
				生活 がっこうだいすき はじめましてきょうしつ 学校の日を知ろう 先生と学校の中を歩いてみよう	図工 よるしくね 名前を書いてみよう 名前を教え合おう
3				生活 がっこうだいすき はじめましてきょうしつ 学校の日を知ろう 先生と学校の中を歩いてみよう	体育 校庭で遊ぼう ならびっこ 遊具遊び
				生活 作った名札を見せ合おう 名前を教え合おう	生活 がっこうだいすき 校庭を探検しよう
4			生活 がっこうだいすき 登下校時のあいさつ・交通安全のルール	生活 がっこうだいすき 登下校時のあいさつ・交通安全のルール	道徳 あいさつをすると 登下校時のあいさつ・交通安全のルール
			学活 掃りの用意の仕方・コースごとに整理・下校指導	学活 掃りの用意の仕方・コースごとに整理・下校指導	学活 掃りの用意の仕方・コースごとに整理・下校指導
5					
配当 時数			生活 1. 5 音楽 0. 5 学活 2	生活 1 音楽 0. 5 学活 0. 5 国語 1. 5 図工 0. 5	生活 0. 5 音楽 0. 5 学活 0. 5 国語 0. 5 道徳 1 体育 1

【幼保からのつながりを意識した授業のポイント】

- 生活科を中心に合科的・関連的な指導を行う。
- 時間の枠で区切っているが、実際の活動では子供たちの思いを拾い上げながらなめらかに活動をつないでいくようにする。
- 子供たちが園で経験したことを話し、伝え合いながら活動を広げていくようにする。
- 1時間目の音楽では幼稚園や保育園で歌った歌や手遊びを取り入れ、安心して学校生活の一日のスタートがきれるようにする。
- 複数学級がある学校では、1時間目の音楽を学年全体での活動として設定することで、友達づくりに対する不安を解消するとともに、担任だけでなくたくさん先生の先生が見守っていくことを伝え安心させる。（特別支援担当、7学年、支援員も1時間目の活動に加わるようにする）
- 入学式の翌日は、子供たちは不安でいっぱいである。「学校は楽しい」「学校は安全」と思えるような活動を工夫する。
- 1年生はゼロからのスタートではない。幼児期の終わりまでに育てほしい10の姿を踏まえた指導を工夫する。
- 教室に絵本のコーナーや自由遊びのスペースを作り、新しい環境の中でも落ち着いて過ごすことができるようにする。
- 国語の4月教材群は、子供たちの実態や学校生活の流れに合わせて、学習活動の一つ取り出したり、複数を組み合わせたりして、1回あたり5分から15分程度で扱うようにする。

